

I. 文化財資料館（令和4年度）の運営

（1）展示・公開事業

■ 常設展示 / 公開

□ 1階展示室

展示エリアを4つの空間にわけ、エリア1・2を「東奈良遺跡—弥生集落と銅鐸生産—」、エリア3を「茨木の歴史と文化」、エリア4を「茨木の暮らしとなりわい」のコーナーに分け、展示した。

□ 2階郷土資料室

令和4年3月31日から開室し、図書・史料の閲覧及び収蔵並びに事務スペースをしつらえ、新修茨木市史の編さんにあたって収集した主に文献資料（古文書等）の整理・公開・活用を進めている。

年間利用者数：2,499人

■ 企画展示

□ 茨木市立文化財資料館 第38回テーマ展

展示名：「いばらき歴史発見！ - 先人が遺した文化財 -」

会期：令和4年10月1日（土）～11月28日（月）（日数：59日）

会場：文化財資料館1階展示室

会期中入館者数：1,886人

概要：本市域には日本列島で人々が暮らし始めた旧石器時代より、様々な歴史が紡がれた地である。なかでも、日本で唯一の完全な形の銅鐸鋳型、大化の改新前に中臣鎌足が退去した三島別業の所在を示す埴、いまなお現存する郡山宿本陣、教科書にも登場する聖フランシスコ・ザビエル像などは、本市域のみならず日本の歴史のなかでも重要である。このような先人が遺した文化財を時代ごとに展示・紹介した。

<関連事業>

クイズラリー：参加者数：延べ332人（企画展と共通）

□ 第23回茨木市立文化財資料館企画展

展示名：「水旱—水をめぐる茨木の災害史—」

会期：令和4年10月1日（土）～11月28日（月）（日数：59日）

会場：文化財資料館1階展示室

会期中入館者数：1,886人

概要：近世～近代の茨木市域で起こった水旱の状況と対応・対策について、古文書・絵図資料・写真を用いてみていき、茨木の災害史の一端を紹介した。

□ ちょっと昔のいばらき展

会期：令和5年1月11日（水）～3月13日（月）（日数：53日）

会場：文化財資料館1階ロビー、1階展示室

会期中入館者数：3,144人

概要：文化財資料館の所蔵品から、昭和後期にかけて使用されていた日用品に関する道具

と、大正時代から 50 年ほど前にかけての昔の写真を展示した。また期間中の 2 月 25 日（土）～3 月 13 日（月）まで、おひな様の展示を行った。

<関連事業>

クイズラリー：参加者数：延べ 441 人

□ミニ展示

展示名：「郷土史料室開室記念 茨木に伝わる史料の歩み―市史編さんの軌跡と郷土史料室への継承―」

会期：令和 4 年 3 月 31 日（木）～8 月 29 日（月）（日数：154 日）

会場：1 階ロビー

会期中入館者数：3,106 人

概要：郷土史料室の開室を広く市民に周知することを目的として、市史編さんの軌跡を追って、本市伝来の史料の一部を紹介し、郷土史料室の利用方法を案内した。

□ミニ展示（「広報いばらき」令和 4 年 5 月号巻頭特集連動企画）

展示名：「写真で見る昭和の茨木」

会期：令和 4 年 5 月 1 日（日）～5 月 30 日（月）（日数：30 日）

会場：1 階ロビー

会期中入館者数：1,228 人

概要：当館で所蔵する、本市在住であった故・田村文男氏が撮影した、昭和 30 年代から 40 年代ころの市内各所の写真を展示した。

□ミニ展示

展示名：「旗本を支えた村々―摂津国島下郡の旗本領―」

会期：令和 4 年 9 月 1 日（木）～12 月 28 日（水）（日数：119 日）

会場：2 階郷土史料室前

会期中入室者数：737 人

概要：茨木市域に存在した旗本領の一つである板橋氏領奈良村・下中条村に関する史料（竹田守作家文書）をとりあげ、板橋氏領において両村が果たした役割や板橋氏と両村とのかかわりを紹介した。

□ミニ展示

展示名：「着物の洗濯と悉皆屋」（日数：87 日）

会期：令和 5 年 1 月 4 日（水）～3 月 31 日（金）

会場：2 階郷土史料室前

会期中入室者数：628 人

概要：所蔵資料の紹介を目的として、近世・近代の着物の洗濯と悉皆屋に関する展示を行った。

□第 40 回郷土民俗資料展

展示名：「茨木のかくれた史跡」

会期：令和 4 年 11 月 25 日（金）～11 月 27 日（日）（日数：3 日）

会場：文化財資料館 2 階研修室

入場者数：90人

概要：本市域の史跡を中心に、今まで知られていなかった民話や伝承などにもとづく史跡を解説・紹介した。

□第13回キリシタン遺物史料館企画展

展示名：「ザビエルのほこー隠しつづけたキリシタン遺物ー」

会期：令和5年3月23日（水）～5月22日（月）（日数：61日）

会場：キリシタン遺物史料館展示室

会期中入館者数：1,119人

概要：キリシタン遺物を隠していた箱にスポットをあてて構成し、キリシタン遺物とともに3つの箱を展示し、遺物の隠されてきた状況や開封までの歴史を紹介した。

<関連事業>

クイズラリー：参加者数：延べ433人

□郡山宿本陣特別公開

概要：例年、予約なしで自由に見学できる特別公開を秋・春におこなっているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、特別公開を中止した。

(2) 教育普及事業

■講座・講演会事業

□東奈良遺跡銅鐸鑄型発見50周年プレ事業シンポジウム「銅鐸から弥生時代社会を見直す」

会期：令和4年11月5日（土）

時間：午前10時～午後5時

会場：茨木市生涯学習センターきらめき きらめきホール

受講料：無料

申込数：296人（参加者数225人）

報告

「東アジアのなかの銅鐸」春成秀爾氏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

「銅鐸は九州で形成された」石川日出志氏（明治大学教授・日本古代学研究所長）

「九州の青銅器生産の始まりと展開」常松幹雄氏（福岡市埋蔵文化財課主任文化財主事）

「近畿における武器形青銅器生産」吉田広氏（愛媛大学ミュージアム教授）

「近畿における銅鐸生産の技術系譜」清水邦彦（本市学芸員）

「東奈良における銅鐸生産とその後の動向」難波洋三氏（奈良文化財研究所客員研究員）

討論 司会：中村俊介氏（朝日新聞編集委員）

パネラー：上記登壇者

□第36回 古文書教室講座

初級編・中級編を設定し、前期・後期の各計6回行った。古文書に興味を持ってもらえるよう、市史収集資料も活用して内容を充実させて実施した。

期間：令和4年5月19日（木）～令和5年1月12日（木）

（初級編、中級編ともに前期3回、後期3回の計6回）

対象：市内在住・在勤・在学の18歳以上の者

時間：午後6時～7時30分

講師：片山正彦氏（市立枚方宿鍵屋資料館学芸員）・中川博勝氏（精華町教育委員会古文書等調査員）・高橋伸拓（本市学芸員）・柴崎謙信（本市文化財調査担当員）

会場：文化財資料館 2 階研修室

受講料：無料

申込数：初級編：前期 19 人 後期 17 人

中級編：前期 14 人 後期 13 人

（延べ参加者数：初級編 86 人、中級編 68 人）

□第 27 回 郷土史教室講座

茨木に愛着を抱いてもらうことを目的として、「歴史に視る茨木」をテーマに全 6 回の講義を実施した。

期間：令和 4 年 7 月 16 日（土）～令和 4 年 12 月 17 日（土）原則第 3 土曜日

対象：市内在住・在勤・在学の中学生以上の者

会場：文化財資料館 2 階研修室

受講料：無料

申込数：40 人（延べ参加者数 178 人）

	月 日	講 義 内 容	講 師		人 数
1	7 月 16 日	三つの聖龕と一つの厨子 - 千提寺・下音羽のキリスト教遺物が語るもの -	小林公治氏	東京文化財研究所	33 人
2	8 月 20 日	淀川流域と北岸地域の古墳時代集落	笹栗拓氏	大阪府文化財センター	33 人
3	9 月 17 日	墓からみた茨木市域の古墳時代	清水邦彦	本市学芸員	31 人
4	10 月 15 日	明治の宝物調査と茨木	桑野梓	本市学芸員	29 人
5	11 月 19 日	絵画土器から考える弥生文化 - 「両手を広げた人物」は何を語るか -	柴田将幹氏	田原本町教育委員会文化財保存課	32 人
6	12 月 17 日	銅鐸工人の補修技術に迫る	北井利幸氏	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	20 人

□夏休み体験学習講座

夏休み中の小学生を対象とした体験学習。地域の歴史について興味・関心を持ってもらうことを目的として、ミニチュア銅鐸鑄造体験・メダイ鑄造体験を実施した。

開催日：令和 4 年 7 月 28 日（木）～7 月 30 日（土）

午前 10 時～ 11 時 30 分（ミニチュア銅鐸鑄造体験）

午後 2 時～ 3 時 30 分（メダイ鑄造体験）

対象：市内小中学生

会場：文化財資料館 2 階研修室

受講料：ミニチュア銅鐸鑄造体験 1,400 円（材料費）

メダイ鑄造体験 400 円（材料費）

申込者数：35 人（参加者数 31 人）

□夏休みイベント「児童向けくずし字チャレンジ」

開催日：令和 4 年 7 月 21 日（木）～8 月 24 日（水）

対象：来館者

会場：文化財資料館 2 階郷土史料室

参加者数：116 人

□生涯学習出前講座

茨木市では、市内在住・在勤・在学の10人以上で構成された団体等に対して、メニューを提示し、要望に応じて市職員を派遣する出前講座を実施している。令和4年度の文化財資料館のメニューは「東奈良遺跡」「茨木のキリシタン遺物－信仰を捧げた人々－」「郡山宿本陣（樺の本陣）」とした。

□外部講演会

- ・令和4年5月8日（日）
茨木シニアカレッジいこいこ未来塾わがまち茨木と北摂の歴史・文化コース講座
「茨木の歴史文化の全般を知る」派遣職員：黒須靖之（文化財資料館長・本市学芸員）
- ・令和4年5月22日（日）
茨木伝統芸能フェスティバル（NPO法人伝統文化を愛する会 主催）
「茨木城主・中川清秀」派遣職員：黒須靖之（文化財資料館長・本市学芸員）
- ・令和4年7月3日（日）
歴史街道推進協議会・大阪府立中央図書館共催パネル展「大阪府内の街道」
講演会「摂津名所図会にみる茨木」派遣職員：桑野梓（本市学芸員）
- ・令和4年10月16日（日）
鎌足まつり 2022presents 鎌足さんのことを知ろう 特別講演
（桑原山地福寺・学生団体てらふる茨木 共催）
「鎌足と茨木」派遣職員：中本和（本市文化財調査担当員）
- ・令和4年11月6日（日）
茨木シニアカレッジいこいこ未来塾わがまち茨木と北摂の歴史・文化コース講座
「茨木のキリシタン遺物」派遣職員：桑野梓（本市学芸員）
- ・令和5年1月21日（土）
第21回歴史文化をめぐる地域連携協議会（神戸大学大学院人文学研究科 主催）
「自治体史編さん後の収集資料の活用－茨木市立文化財資料館郷土史料室の事例－」
派遣職員：高橋伸拓（本市学芸員）

□おうちミュージアム

北海道博物館が提唱した、子ども達が家で楽しく学べるアイデアを伝えるプログラムで、全国各地の博物館等が参加している。当館も令和2年9月より参加し、銅鐸パーパークラフトの作成データの公開や、動画配信などを行っている。

■刊行物

- ・『茨木市立文化財資料館館報 第8号』（初版/A4・74頁・300部）
- ・『銅鐸から弥生時代社会を見直す』シンポジウム資料集（増刷/A4・70頁・700部）

■学校教育

□博物館実習

リニューアルによる展示室の長期閉室、及び新型コロナウイルス感染症対策のため、十分な館園実習ができないことから中止した。

□「昔のくらし学習」における団体見学及び出前授業

ちょっと昔のいばらき展における団体見学を再開し、遠方の学校へは職員が出向いて実施する出前授業を実施した。

団体見学（9校）

月 日	学 校 名	人 数
1月17日	茨木市立大池小学校	145人
1月17日	茨木市立中条小学校	68人
1月18日	茨木市立水尾小学校	110人
1月19日	茨木市立沢池小学校	115人
1月24日	茨木市立玉櫛小学校	78人
1月24日	茨木市立中条小学校	97人
1月25日	茨木市立葦原小学校	114人
1月26日	茨木市立東奈良小学校	63人
1月31日	茨木市立玉島小学校	108人
2月1日	茨木市立天王小学校	130人

出前授業（13校）

月 日	学 校 名	人 数
2月7日	茨木市立忍頂寺小学校	4人
2月8日	茨木市立春日丘小学校	75人
2月9日	茨木市立西河原小学校	31人
2月9日	茨木市立中津小学校	79人
2月14日	茨木市立白川小学校	76人
2月14日	茨木市立清溪小学校	4人
2月15日	茨木市立安威小学校	20人
2月15日	茨木市立畑田小学校	56人
2月16日	茨木市立春日小学校	112人
2月16日	茨木市立西小学校	42人
2月21日	茨木市立耳原小学校	109人
2月21日	茨木市立太田小学校	80人
2月22日	茨木市立彩都西小学校	112人

□中学生職場体験

月 日	学 校 名	人 数
11月10・11日	茨木市立東雲中学校	延べ4人

□高校生団体見学

月 日	学 校 名	人 数
12月15・16・19日	大阪府立茨木高等学校	延べ121人

□大学生地域学習

月 日	学 校 名	人 数
11月12日	追手門学院大学文学部 久水俊和ゼミ	14人
12月1日	追手門学院大学地域創造学部 藤井正ゼミ	5人

■文化財解説員（ボランティア）の活用

□文化財解説員（ボランティア）研修

月 日	内 容	講 師
6月16日	講義「藤原山蔭」	中本和
7月21日	夏休み体験学習講座の実習	桑野梓

9月29日	第38回テーマ展・第23回企画展・常設展の展示解説	黒須靖之・清水邦彦・高橋伸拓・桑野梓
-------	---------------------------	--------------------

□文化財解説員（ボランティア）の活動

令和4年度は、文化財資料館第38回テーマ展、夏休み体験学習講座で協力を得た。
協力者数：延べ29人

■文化財説明案内板の付替・新設・撤去

- | | | | |
|--------------|----|---------------|----|
| ・西国街道標柱（5箇所） | 撤去 | ・亀岡街道標柱（2箇所） | 撤去 |
| ・亀岡街道標柱 | 付替 | ・白井河原合戦場跡案内標識 | 付替 |
| ・千提寺菱ヶ谷遺跡 | 新設 | | |

(3) 資料収集・管理事業

■資料収集

□寄贈

- | | | | |
|--|-----|-----------|----|
| ・文机、鐘 | 2点 | ・下井町伊勢講資料 | 一式 |
| ・扁額等 | 10点 | ・給食日誌 | 一式 |
| ・瓦 | 1点 | ・古文書 | 5点 |
| ・雛人形 | 一式 | ・ひのし | 1点 |
| ・毘沙門天立像及び吉祥天立像、善膩子童子立像、
田能村直入筆天袋襖絵山水図、寿老人像他 | | | 9点 |

□寄託

- | | |
|---------------|-----|
| ・水尾弥勒堂仏画類（更新） | 4点 |
| ・大門寺一切経 | 77点 |
| ・古文書（奥野家文書） | 一式 |

■資料管理

□資料調査

月 日	調査者・団体	調査資料
5月15日	個人（大阪大学大学院生）	青松塚古墳出土須恵器43点
5月23日	個人（奈良女子大学）	將軍山古墳群玉類一式、耳原西古墳出土玉類一式、安威0号墳出土玉類一式、海北塚古墳出土玉類一式、郡倍賀遺跡出土管玉3点、長ヶ淵古墳群出土玉類一式、新屋古墳群出土玉類一式
6月2日	個人（愛媛大学）	東奈良遺跡出土銅戈鋳型3点
6月8日	個人	東奈良遺跡出土小銅鐸、東奈良遺跡出土弥生土器7点、総持寺遺跡出土弥生土器1点
6月26日	個人（奈良県）	郡遺跡出土土師器8点、総持寺遺跡出土土師器16点
7月12日	個人（大阪大学大学院生）	將軍山4号墳出土須恵器一式、伝海北塚古墳出土土器一式
7月21日	個人（京都大学学生）	東奈良遺跡出土弥生土器5点、中河原遺跡出土弥生土器2点
8月3日	個人（京都大学）	マリア十五玄義図、殉教者像、メダイ7点、天使讃仰図6枚、厨子入り象牙彫キリスト磔刑像、木製十字架、ロザリオ計18点
8月4日	個人（明治大学）	東奈良遺跡出土小銅鐸

11月28日・ 12月2日	個人（大阪大学学生）	目垣遺跡出土弥生土器一式
12月11日	個人（京都府埋蔵文化財調査研究センター）	大型石包丁4点、石包丁5点、銅鐸形土製品1点
12月19日	個人（西宮市教育委員会）	新屋26号墳石棺
2月2日	今城塚古代歴史館	石山古墳出土鉄器一式
2月9日	個人	太田遺跡出土埴輪・須恵器一式
3月5日	個人（大阪府文化財センター）	東奈良遺跡出土須恵器3点、春日遺跡出土埴輪15点・須恵器29点、中条小学校遺跡出土埴輪14点・土師器7点、須恵器44点・土師皿1点

□写真借用・掲載許可

申請者	資料・写真名	撮影・掲載目的
阪急電鉄株式会社	阪急茨木市駅付近（昭和41年頃）	小学校へ出張授業のスライドに使用
摂津市教育総務部生涯学習課市史編さん係	茨木高等学校所蔵「村誌」（三宅村、味舌村、鳥飼村）	『新修摂津市史』第2巻執筆の参考史料として使用
個人	天使讃仰図（主禱・洗礼・堅信・品級・聖体・婚姻）、慶長八年銘キリシタン墓碑、東家本マリア十五玄義図	著書に掲載
滋賀県立安土城考古博物館	東奈良遺跡出土鎔范関係遺物 一括	『里帰り！日本最大の銅鐸ー太古の響きを安土の地で』展で使用
株式会社エムエムユー	キリシタン遺物史料館外観、天使讃仰図（主禱）、郡山宿本陣外観・上段の間	『Smily 通信』2022年秋号「ぶらり散策」ページに掲載
新宿区立新宿歴史博物館	東奈良遺跡出土小銅鐸附舌	『新宿の弥生時代』展で使用
株式会社サンフラップエックスワン	郡山宿本陣上段の間	関西テレビ「よ〜いドン！」内の「となりの人間国宝さん」にて使用
伊丹市立伊丹ミュージアム	中川清秀像、中川清秀制札案	図録『信長と戦った武将・荒木村重』に掲載
藤井寺市教育委員会	太田茶臼山古墳（航空写真）	報告書『赤子塚古墳』に掲載
大津市歴史博物館	東奈良遺跡出土埴輪	『大友皇子と壬申の乱』展で使用
株式会社雄山閣	将軍山古墳前方部前端の葺石、安威0号墳の埋葬施設、耳原古墳の大型横穴式石室	別冊季刊考古学 第39号「淀川流域の古墳時代」巻頭口絵に掲載
茨木市観光協会	天使讃仰図（主禱・洗礼・堅信・品級・聖体・婚姻）	いばらき観光ウォーク資料に掲載
個人	田島入湯記（池上家文書）、送り手形之事（旧上野村文書）	市民活動センター主催講演会のスライド・配布資料に使用
個人	粟生村徳兵衛北国関東東廻国に付き往来手形（池上家文書）	市民活動センター主催講演会のスライドに使用
個人	西蔵垣内村絵図（阪口家文書）	詳細を閲覧
八尾市魅力創造部市史編纂室	慶長六年銘キリシタン墓碑、慶長十五年銘キリシタン墓碑、慶長十八年銘キリシタン墓碑	『新版八尾市史 建造物編』に掲載
摂津市教育総務部生涯学習課市史編さん係	中川清秀像	『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻に掲載
摂津市教育総務部生涯学習課市史編さん係	『新修茨木市史』第2巻、「在下方屎仲間加入の村々」図（283頁）、「広島行夫役人足の行路」図（681頁）	『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻に掲載

関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局	太田茶臼山古墳（航空写真）	関西の古墳魅力発信事業に係るパンフレット及び関西観光本部のHPへ掲載
個人	明治24年分 毎日見聞筆記 第拾六号春日村大字 春日 松本房治郎（松本恒子家文書11）	著書に掲載
個人	東奈良遺跡出土小銅鐸附舌、銅鐸の描かれた絵画土器、点描人物画土製品、第1号流水文銅鐸 鋳型、銅鐸復元品、銅鐸型土製品、展示室全景	きたしん総合研究所発行の「彩」3月号（Vol.124）に掲載
株式会社MBSラジオ	太田茶臼山古墳（航空写真）	ラジオ番組「ラジオウォーク」に関連するYouTubeにて使用
長崎県文化振興・世界遺産課	メダイ（教皇グレゴリオ14世）	『世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録4周年記念シンポジウム「キリシタンと日本」事業報告書』に掲載
摂津市教育総務部生涯学習課市史編さん係	「明治26年小学校設置書類」「諸新聞売捌誌」「明治34年諸事記口書類」	『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻に掲載
個人	マリア十五玄義図	著書に掲載
第一学習社	東奈良遺跡出土第1号流水文銅鐸鋳型	地理歴史科の副教材『最新日本史図表』に掲載
九州国立博物館	東奈良遺跡出土第1号流水文銅鐸鋳型	銅鐸複製品鋳造ドキュメント映像内で使用
個人	郡山宿本陣文書	大学の講義で使用

文化財資料館等環境調査

歴史資料管理システムデータベース保守

歴史資料管理システムデータベース作成・登録

古文書等画像データ作成（北川家文書・追手門学院大学旧蔵安威村文書・福山家文書・西岡家文書・福井村文書・宇野辺山野氏文書）

■ 資料保存

古文書修復保存（水尾区有文書）

（4）調査・研究事業

■ 館蔵資料の整理及び調査・研究

■ 古文書解読整理

■ 文化財資料館館報の刊行

(5) 連携事業

■北大阪ミュージアムネットワーク

月 日	内 容	会 場	講 師	人 数
9月3日	シンポジウム「新型コロナに立ち向かうミュージアム」 ・「コロナ禍における文化と日常」 ・『疫病に立ち向かう－奪われしもの、生まれしもの－』を振り返って ・「世界はさわらないとわからない－『ユニバーサル・ミュージアム』とは何か－」 パネルディスカッション	国立民族学博物館 第4セミナー室	永田一宏氏（JT生命誌研究館館長） 佐藤健太郎氏（関西大学博物館学芸員） 広瀬浩二郎氏（国立民族学博物館准教授） 司会：中牧弘允氏 パネリスト：上記登壇者	7人

■歴史街道推進協議会（西国街道連携事業）

西国街道ウォーキングマップの改訂

■高槻・茨木文化財連携事業

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止した。

■近畿大学文芸学部

近畿大学文芸学部松岡久美子ゼミと連携し、茨木のキリシタン潜伏期における信仰の様相を明らかにする目的で文化財調査実習を実施した。調査成果は、キリシタン遺物史料館企画展と同時開催としてパネル展示「キリシタンをたずねて－藤波大超さんと教誓寺－」を実施した。

月 日	内 容	参加人数
10月29日	キリシタン遺物史料館等現地見学	17人
11月26日、12月3日、17日	教誓寺文化財調査	延べ17人

(6) 文化財資料館運営審議会

文化財資料館の運営に関し、下記の事項について協議を行い、その内容について委員に意見を求めた。

第1回（令和4年5月24日）	氏 名		
議題（1） 令和3年度文化財資料館等事業報告について 議題（2） 令和4年度文化財資料館等事業計画について	委員長	若林邦彦 同志社大学歴史資料館 教授	
	副委員長	辻尾榮市 地域歴史民俗考古研究所 所長	
	委員	瀧端真理子	追手門学院大学心理学部 教授
		岡市正規	茨木神社 宮司
		足立久美子	文化のみち 代表
		難波洋三	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 客員研究員
		吉村健	大阪府立茨木高等学校 教諭
		松岡久美子	近畿大学文芸学部 准教授
		石井美香	茨木市立玉櫛小学校 校長
		松村薫	茨木市教育研究会小学校社会科部 副部長（忍頂寺小学校）

(7) 入館者数

■文化財資料館

年間入館者数：9,715人

団体見学：29団体

月	開館日数	個人	団体数	団体人数	合計入館者数
4	26	481	0	0	481
5	27	1,228	0	0	1,228
6	26	506	0	0	506
7	27	506	0	0	506
8	25	390	0	0	390
9	25	468	0	0	468
10	27	871	1	20	891
11	23	778	9	248	1,026
12	24	461	3	118	623
1	24	700	11	959	1,680
2	23	860	1	130	990
3	27	863	4	63	926
合計	304	8,112	29	1,538	9,715

■キリシタン遺物史料館

年間入館者数：3,822人

団体見学：19団体

月	開館日数	個人	団体数	団体人数	合計入館者数
4	26	364	0	0	364
5	27	493	0	0	493
6	26	281	1	18	299
7	27	305	0	0	305
8	25	329	0	0	329
9	25	275	2	27	302
10	27	340	3	62	402
11	23	232	4	53	285
12	24	152	2	34	186
1	24	220	3	30	250
2	23	235	1	17	252
3	27	320	3	35	355
合計	304	3,546	19	276	3,822

■国史跡郡山宿本陣

新型コロナウイルス感染症対策のため、団体見学及び特別公開を中心した。